

予算委員会 会議録

日 時 令和5年3月1日（水曜日） 午後1時28分 ～ 午後3時29分
場 所 白杵庁舎2階 全員協議会室

出席委員の氏名

委員長 大塚 州章	副委員長 牧 宣雄	委員 平川 幸司
委員 甲斐 尊	委員 安東 鉄男	委員 芝田 英範
委員 河野 巧	委員 川辺 隆	委員 匹田久美子
委員 内藤 康弘	委員 伊藤 淳	委員 広田 精治
委員 戸匹 映二	委員 奥田富美子	委員 匹田 郁
委員 武生 博明	委員 吉岡 勲	

オブザーバー

議長 梅田 徳男

欠席委員の氏名

（ な し ）

説明のため出席した者の職氏名

政策監（総務・企画担当）	平山 博造	政策監（民生担当）	小坂 幸雄
政策監（福祉保健担当）	杉野 等	政策監（産業担当）	佐藤 一彦
教育次長兼教育総務課長	後藤 誠也	消防本部消防長	亀井 英樹
総務課長	柴田 監	財務経営課長	荻野 浩一
秘書・総合政策課長	安東 信二	市民生活推進課長	川野 徳明
防災危機管理課長	竹尾 幸三	環境課長	廣瀬 武志
地域力創生課長	望月 裕三	税務課長	中尾 敬
市民課長	寺本 政浩	高齢者支援課長	川辺みさご
福祉課長	大戸 敏雄	子ども子育て課長	尾本 浩
都市デザイン課長	小坂 郡師	建設課長	高野 裕之
上下水道工務課長	小長 範幸	上下水道管理課長	齋藤 隆生
産業観光課長	佐藤 忠久	農林振興課長	目原 康弘
農業委員会事務局長	吉良 圭三	選挙管理委員会事務局長	瀧澤 愛

農林振興課参事兼
農林基盤整備室長
その他関係職員

藤澤 清巳

消防本部総務課課長代理 広戸 隆宏

出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英 次長 後藤秀隆 副主幹 高橋悠樹 書記 大井智香子

傍聴者

(記者 1 名)

会議に付した事件及び審査結果

番 号	件 名	審査結果
第 1 8 号	令和 4 年度臼杵市一般会計補正予算（第 1 0 号）	賛成多数
第 1 9 号	令和 4 年度臼杵市水道事業会計補正予算（第 3 号）	原案可決
第 2 0 号	令和 4 年度臼杵市下水道事業会計補正予算（第 4 号）	原案可決
第 2 1 号	令和 4 年度臼杵石仏特別会計補正予算（第 2 号）	原案可決
第 2 2 号	令和 4 年度臼杵市介護保険特別会計補正予算（第 3 号）	原案可決

午後 1 時 2 8 分 開議

○委員長（大塚州章）

ただいまより予算委員会を開催いたします。本日は傍聴の申し出があった場合には許可したいと思いますのでご了承ください。なお、一般会計と特別会計のすべての説明と質疑終了後に一般会計から順次、討論採決を行いたいと思いますのでよろしくお願いします。

これより議事に入ります。本委員会に付託されました議案は 5 件であります。本日の委員会はお手元に配付しております委員会次第により進行いたします。また、質疑及び答弁を行う場合の挙手についても徹底をお願いします。第 1 8 号議案 令和 4 年度臼杵市一般会計補正予算第 1 0 号について審査を行います。執行部の説明を求めます。まず、総務関係の議案について

審査を行います。執行部の説明をお願いします。

◎財務経営課長（荻野浩一）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １～２ページに基づき説明 ）

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

秘書・総合政策課は、公共交通とふるさと納税２つの事業の予算を上げております。事業ごとにご説明させていただきます。

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １～２ページに基づき説明 ）

◎地域力創生課長（望月裕三）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 １～２ページに基づき説明 ）

◎防災危機管理課長（竹尾幸三）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ２ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

歳出の３番、生活交道路線維持費補助金ですが、新型コロナウイルス感染症の影響ということで、今年度中には少しは良くなるのかなと思ってんですけども、この金額は前年度、前々年度と比べて、これぐらいの予算でしたでしょうか。それとあと利用者は、当時と比べてどれぐらい減ったので、これぐらい補填しないといけないという計算になっているのか、ご説明をお願いします。

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

河野委員のご質問にお答えいたします。市の補助金ですけれども、今年度が３，２８１万３，０００円ですけれども、令和元年度が、８９９万４，０００円、令和２年度が２，９８４万３，０９２円、令和３年度が３，０５８万７，０００円となっております。この算出の根拠ですけれども、バスの運賃で賄えるはずである通常運行経費というのがありまして、その運行経費から実際の乗車料を差し引いた額を、赤字額とみなしまして、計上しております。路線に関しまして中津浦線と泊ヶ内線、割後場線と白三線というところを、県の補助も合わせて補助しているんですけれども、コロナと言いましたけれども、全体的に公共交通バスの利用者が減っているという現実があります。しかし、このバスがなくなった場合、バスが走らなくなると市民生活に非常に影響がありますので、こうした補助を続けているということでございます。

○委員（河野 巧）

前年度と比較しても、約３倍近くになっているのかなというご説明ですけども、そうした時に、公共にして民間が成り立っているのか成り立っていないのか、ここまできると市営という選択も考えてもいいのかなと思うんですけど、その辺の採算的なことは、市の内部でも検討されてますでしょうか。

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

河野委員のご質問にお答えいたします。市営でバスの事業をやりますと運転手の人件費ですとか車両の維持費など、そういうもの全て市で賄うことになって、先ほどご説明しましたようにここは、通常の運行経費に対しての補助ですので、中津浦線、泊ヶ内線、割後場線、臼三線を市で運営するっていうのは、市としても厳しいものがあって、その隙間はコミュニティバスを市営で走らせてはいるんですけれども、地域の公共のバス会社の存続という意味でも補助金という形で考えて、直ちに市営へという考えはございません。今のところ検討しておりません。以上です。

○委員（河野 巧）

人口がどんどん増えている時なら、こういうことをあまり考えなくてもいいのかなと思うのですが、課長が言われるように、利用者が減っている、利用しようにもその利用する人がいなくなっているんで、そこは、中長期的にも考えないといけないのですが、その辺は何か話されているんでしょうか。

◎秘書・総合政策課長（安東信二）

河野委員のご質問にお答えいたします。今回の補正予算につきましては、現状の補助金のルールで計上させていただいています。先ほど言われたことでございますが、例えば免許返納者に対しての移動の確保などは、もっと取り組んでいかなければならないということで、検討を始めております。まだ、こうやりますっていうことは言える段階ではないですし、当初予算にもそこまでは計上してないんですけれども、例えばですけれども、このタクシーを100円とかにした場合、バス会社の運営が厳しくなるとかそういうバランスもあるのと、公共交通に関しましては、陸運局のいろんな許可等もございまして、市の考えだけではなかなかいかないところもありますので、公共交通機関と、タクシー会社とも協議をしながら、今言われたようなことは具体的にどんどん踏み込んでいかなければいけないと考えており、そういうことを念頭にいろいろ企画をしております。以上です。

○委員（河野 巧）

公共交通、一番大変なところだと思いますので、ぜひこれからもご検討をお願いしたいところです。続きまして歳出の5番、地域力創生課の定住促進事業補助金ですが、県外移住者の増加等ということが書かれているんですけれども、例年と比べてどれぐらい増えたのかとか、もしくは増えているんですけれども、これぐらい県外に出ているんですとかいう数字があれば教えてください。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えいたします。今回、補正をさせていただく案件につきまして、県外移住者が特に増えているということでありますが、例年、大体県外移住者は30世帯ほどであるのですが、すでに2月末時点でもう30世帯を超すぐらいになって、最終的には50世帯近くを見込めるのではないかとということで、今回補正をさせていただく予定にしております。た

だ、今、県外に出ている方の数字とかは、持ち合わせておりませんのでまた改めて回答させていただければというふうに思います。

○委員（河野 巧）

続きまして債務負担行為のほうですけども、先ほどご説明の中のナンバーの1と2と3ですが、こちらは以前、連絡事務所の機能を管理しているということで、それぞれ担当課が違って歳出があったと思うんですけど、今回まとめられたということで、概ね、年500万円平均の委託料になるのかなと計算されるんですが、その内訳として、これが全部これまでのそれぞれが、積み上げた予算と比べた場合に、同じぐらいになっているのか、それとも、減っているのか増えているのか、お願いします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えいたします。債務負担の積算ということですが、基本的には人件費相当分については、人件費の増額等を加味した上で積算をしております。これまでと同じ状態で維持管理ができるように、そして、運営費等につきましては、これまでの光熱水費、また消耗品費とか、すべて実績を踏まえた上で、積算をしております。それぞれ、若干の差異が出ているというような形になっておりますが、野津地区のコミュニティセンターにつきましては、今回、改めて新設をされる地区ということでありますので、若干、勤務体制も違うということで、年間の平均が違っている、そういった状況でございます。

○委員（河野 巧）

そうした時に基準となる、時給もしくは日給または、月給なのかがあると思うんですけども、それは今こちらに市の内部で働かれている方と比べて、大差ないのか下がるのかをお願いします。

◎地域力創生課長（望月裕三）

人件費相当分につきましては、集落支援員の賃金ということで積算をしておりますが、基本的には市の会計年度任用職員と同等の金額で積算のほうさせていただいております。あとは最終的には地域に指定管理をするということで、地域の判断によって、最終的にどういった金額にするかは地域の裁量にお任せをするんですが、市としては積算自体は、会計年度任用職員と同額の賃金で計算をしている状況でございます。以上です。

○委員（河野 巧）

すみませんこだわって申し訳ないですが、会計年度任用職員としたときに、時給換算なのか月給なのかお知らせください。

◎地域力創生課長（望月裕三）

再質問にお答えします。集落支援員の賃金につきましては、月給換算でしております。また集落支援員とは別に、事務員をお雇いしている地域もあるということで、そちらにつきましては、時給換算で積算をさせていただいているという形です。

○委員（河野 巧）

時給は幾らで計算されているんですか。

◎地域力創生課長（望月裕三）

再質問にお答えします。最大値を想定して時給は1,000円で試算をしているところであります。

○委員（河野 巧）

その場合、会計年度任用職員の方もそうですし集落支援員の方も、キャリアというか年数、そちらに勤めまして1年目の方と5年目の方とかを含めて賃金体系は、一応基準は、市のほうから提示しますけども、あとの中身はそこの、振興協議会で考えてくださいっていう認識でよろしいでしょうか。

◎地域力創生課長（望月裕三）

河野委員の質問にお答えします。先ほど時給のほうを1,000円とお答えしましたが、申し訳ありません間違いがございまして、時給は883円で積算をしております。先ほどの質問ですが、経験等を考慮しての金額にしているかということですが、積算段階では、それは含んでおりません。あくまで地域のほうに、それも含めて指定管理をするということですね。地域のほうでその分を加味して、若干のお支払いを追加していただくとかそういうことは可能というふうに考えております。以上です。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。他にありませんでしょうか。

○委員（奥田富美子）

1点お願いします。歳入の寄付金のところですが、子供たちのために使うということで説明がありましたが何かご予定がありましたら、お知らせください。

◎財務経営課長（荻野浩一）

奥田委員のご質問にお答えします。今の段階で、特段、予定というものはありませんけれども、図書であったり子育てに関する予算に充当していくものというふうに考えております。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、総務関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後1時51分 休憩

午後1時52分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、民生関係の議案について審査を行います。執行部の説明をお願いし

ます。

◎市民課長（寺本政浩）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ３ページに基づき説明 ）

◎税務課長（中尾 敬）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ３ページに基づき説明 ）

◎環境課長（廣瀬武志）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ３～４ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりましたこれより質疑に入ります。挙手をもってお願いいたします。

○委員（河野 巧）

歳出の２番、臼杵市地域再エネ導入目標策定事業ということで、不採択ということですが、どのような内容を出されて不採択になったのか、大まかでもいいんですけどご説明いただければと思います。

◎環境課長（廣瀬武志）

河野委員のご質問にお答えいたします。こちらの事業につきましては、臼杵市において再エネを導入する数値目標であったり、あと臼杵市内のゾーニング、こういったものを計画するために必要である費用であります。そういった計画を策定するという目的で、国のほうに補助金申請をしたんですけれども、不採択になりました。参考までに全国で１３０の自治体がこの補助金を申請しましたが、うち１４団体しか採択されておらず、大分県内におきましても、臼杵市を含めて３市が申請しましたが、３市とも不採択となったというような状況であります。以上であります。

○委員（河野 巧）

分かればいいんですけど、反対に、１３０のうち１４団体のどういうのが通ったんですかね。今後のために、また来年度もお願いするのとかいうのも含めてなんですけど。

◎環境課長（廣瀬武志）

河野委員のご質問にお答えいたします。申請内容は、先ほど申し上げたような内容をどの自治体も申請していると認識しておりますが、細かい内容につきましては、こちらもすべての自治体の内容把握しておりませんので、その辺はちょっとお答えできかねることになります。

以上です

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、民生関係の議案質疑を終わりますご苦労さまでした。休憩いたします。

午後2時01分 休憩

午後2時02分 再開

○委員長（大塚州章）

次に、福祉保健関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監兼保険健康課長（杉野 等）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 5ページに基づき説明 ）

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 5～7ページに基づき説明 ）

◎子ども子育て課長（尾本 浩）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 5～7ページに基づき説明 ）

◎福祉課長（大戸敏雄）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 5～7ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

繰越明許費のほうで歳出の1番と2番、介護基盤整備事業と急傾斜崩落対策事業ですが、今、指定管理に出していたと思うんですけれども、そのあと違うところに決まったとお聞きしていたんですけれども、そこに行くまでに工事は終わりそうですかね。その進捗状況をお知らせください。

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

河野委員のご質問にお答えいたします。急傾斜地の崩壊対策事業につきましては、今回測量設計ということで実際の工事は、この測量設計が終わって来年度以降になりますので、今度、指定管理の法人が変わりますが、それからの工事の着手という形にはなります。

○委員（河野 巧）

今、指定管理しているところから新しいところに行くまでに工事が終わりそうな感じですかね。それとも、次の指定管理をした時にもまだ工事をしている計画でしょうか。

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

今回、指定管理とは直接関係のあるものではなく、あくまで安生寮の裏山の急傾斜地の崩壊対策の工事ということなので、工事自体は、今のところ予定では来年度中ぐらいに終わる予定にしています。

○委員長（大塚州章）

他にありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、福祉保健関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩します。

午後２時１５分 休憩

午後２時１６分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、インフラ関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎都市デザイン課長（小坂郡師）

都市デザイン課の小坂です。インフラ部門の３月の補正予算につきまして、都市デザイン課所管分よりご説明します。座って説明させていただきます。都市デザイン課につきましては、歳入歳出はございませんので繰越明許費と債務負担行為のみになります。

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ９～１０ページに基づき説明 ）

◎建設課長（高野裕之）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ８～１０ページに基づき説明 ）

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ９～１０ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

歳出の１番、地籍調査費のところですが、補正後は９２８万円で今回、１，６１４万円の減額ですが、当初予定していた地籍調査の費用が余ったことについては、調査する人が少ないのか、何か要因がありますでしょうかお願いします。

◎建設課長（高野裕之）

地籍調査事業につきましては、前年度からの繰り越し事業を今年度やっております。その関係で今年度、当該年度予算については、コロナ禍もあり執行がなかなか難しかったということと、臼杵地域のほうはすべて測量機器ではかるような測量をしているんですが、この野津地域の山間部においては、今後ドローン等を活用した測量ができるということで、今回そちらのほうに切り換えていく方針を立てていますので、今年度については事業費のほうを見送ったということになっております。

○委員長（大塚州章）

他にありませんか。

○委員（内藤康弘）

地籍の関係ですけど、今、どこまで進んでいますか。

◎建設課長（高野裕之）

内藤委員のご質問にお答えいたします。どこまでとなると、なかなか一言で言えないですけど、現在は白岩地区のほうに入っております。

○委員長（大塚州章）

よろしいですか。他にありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、インフラ関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。ここで5分間休憩いたします。

午後2時30分 休憩

午後2時35分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、産業関係の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎政策監（佐藤一彦）

それでは産業関係の重点事項について各課長よりご説明いたします。よろしくお願いいたします。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 11～12ページに基づき説明 ）

◎農林振興課長（目原康弘）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 11～12ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

歳出の3番、白杵城泊推進事業負担金というところで、当初よりも半減した形だと思うんですけども縮小した内容が分かりましたらお願いします。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。当初2,000万円の事業に関しまして主なものとしてしましては施設の耐震診断のほうが絡んでおりましたけれども、事業規模が半分ということになりましたので、その部分を削減して、実際は稲葉家下屋敷の1棟のみしたと、あと本年度1,000万円かけて基本計画等々、そうした調査をした、ということでございます。以上で

あります。

○委員（河野 巧）

当初から比べて下屋敷のみ、今回事業を行いたいという意向で調査して、今後こういった形を進めていくか予定が今分かれば、お願いします。

◎産業観光課長（佐藤忠久）

河野委員のご質問にお答えいたします。今後につきましては、またいろいろな関係団体とも協議していきながらやっていくことになると思います。詳細につきましては、本日、全員協議会でご説明したいというふうに考えておりますので、またお時間をとっていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○委員（河野 巧）

続いて、食文化の債務負担行為のほうですけれども、2番のイチゴ栽培施設整備事業費ということで、合同新聞さんのほうが調印されて参入されるというお話は聞いたんですけれども、この金額が、補助的な金額であるとすれば、今お話のあった大分合同アグリっていうのはどれぐらい負担をする予定なんですか。お願いします。

◎農林振興課長（目原康弘）

1億5,850万1,000円というのが補助金額であります。総事業費としては2億円を少し超える形になります。計算上複雑なところもあるんですが、負担額としては、5,000万円程度の自己負担額は発生するものと見込んでおります。ただ事業費につきましては、今後、入札等もしながら、事業費の確定後にどのぐらいだったという結果になりますので、今現在では概算で算出しております。

○委員（河野 巧）

先週、いろんな報道等がありまして、臼杵市で助成したところが破綻するってことがありました。そうなってくると、ここの合同新聞さんも、新聞自体はよく分かるんですけども、農業としてどれぐらい実績があるのかとか、事業計画書とかいうのは、どこかで見る機会ができるのかとか、先週のような報道がなければよかったんですけど、あった以上ちょっと、この予算について、良い悪いという判断は、十分できないっていうのが実情であって、こういうことするんですよとか、大丈夫ですよとかいうのがあれば、分かればお知らせください。

◎農林振興課長（目原康弘）

大分合同新聞社につきましては、2年前の6月に初めて、こういった事業に参入したいというご相談を受けました。それから2年かけて農地の選定、あるいは経営計画等、県も含めて協議した中で参入ということに至っております。事業の内容としましては、基本的には、イチゴの栽培というところがメインですが、事業計画の中でいきますと経営が軌道に乗ってくれば、観光農園とか、地域振興で何かしら事業ができないかというところは検討しているようです。大本になった大分合同新聞社の大分合同エデュカルという子会社があるんですが、そちらのほうは大分合同新聞社が主催しております文化事業に取り組んでおりまして、そういったこれま

での経験を踏まえて、地域振興に資する事業が展開できないかというところで、今後検討していくような形にはなっております。事業費につきましては、これあくまでも今、概算で県の標準事業費で計算しておりますので、先ほど言いましたように、今後、入札等あれば下がってくるところはあるのかなど、大事なのはこれから市としても、今、県とJAさんと連携しながら、指導チームという形で経営栽培について、指導に特化したところを今やっておりますので、そういった中でしっかりと指導して、経営が軌道に乗るように指導していくような形をとっていききたいというふうに考えております。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

○委員（内藤康弘）

今の、大分合同の関係ですけど初収穫はいつ頃になりますか。すべて農協さんのほうに出荷という形ですか、それとも独自で販売ですか。

◎農林振興課長（目原康弘）

今後のスケジュールにつきましては、まず令和5年度にこの予算を計上しておりますが、栽培施設を建設いたしまして、令和6年から栽培を開始いたします。定植は大体9月ぐらいで初出荷が令和6年の11月ごろとなります。参入する当初の計画として30アール分については全て農協への出荷ということになります。それ以降計画的に規模拡大を進めれば、直販といえますか、先ほど言いましたような観光農園とかそういったところも現在、検討しているようです。まず、当初参入してから、しっかりとした経営ができるように、市としましても、しっかりと支援していきたいというふうに考えております。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、産業関係の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後2時54分 休憩

午後2時55分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、教育委員会事務局の議案について審査いたします。執行部の説明を求めます。

◎教育総務課長（後藤誠也）

皆さんこんにちは。教育委員会事務局の所管部についてご説明申し上げます。詳細について

は各担当課長から説明いたします。

(令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 13ページに基づき説明)

◎学校教育課参事(麻生幸誠)

(令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 13ページに基づき説明)

○委員長(大塚州章)

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員(匹田久美子)

歳出の2番の小学校の光熱水費ですけども、現状どうなっているか知らずに質問するので申し訳ないんですけど、省エネ対策や交換の手間なども含め、LEDの推進が望ましいと思うんですけど、現状はどうなっていますか。

◎教育総務課長(後藤誠也)

匹田委員のご質問にお答えいたします。今、蛍光灯等については水銀灯や普通の電球等についても製造が中止になるというものもありますので、今後はLED化を進めていかなければならないというふうに思っていますし、LED化にすることによって電気料も少なくすることができるのかなというふうに思っています。ただ、LED灯につきましては、価格的にちょっと高額な場合が多くて、そこは計画的に事業費が膨らみますので、公共5カ年計画等に載せていきながら、計画的に考えていければというふうに思っています。以上です。

○委員長(大塚州章)

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(大塚州章)

以上で、教育委員会事務局の議案質疑を終わりますご苦労さまでした。休憩いたします。

午後3時01分 休憩

午後3時03分 再開

○委員長(大塚州章)

再開いたします。次に選挙管理委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎選挙管理委員会事務局長(瀧澤 愛)

(令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 14ページに基づき説明)

○委員長(大塚州章)

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長（大塚州章）

以上で、質疑を終わります。以上で選挙管理委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後3時04分 休憩

午後3時05分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に農業委員会事務局の議案について審査を行います。執行部の説明をお願いします。

◎農業委員会事務局長（吉良圭三）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 15ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりましてこれより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

歳出の1番ですけども、どういう内容の報酬のアップになりますでしょうかお願いします。

◎農業委員会事務局長（吉良圭三）

成果分に対する報酬につきまして実質、白杵市はないんですけども、農地の集積等の実績と、荒廃農地の解消実績等が成果分としての報酬という形になります。もう一つは、活動に対する報酬というものでありまして、これについては毎月、農地利用最適化推進委員さんが地域の実情で、農地を回ったりなど、そういうものに対して、活動を行っているということで、その報酬としていただけるものであります。

○委員（河野 巧）

以前、農業委員が20数名いたのを、分けたと思います。そうした時に、今、お話のある、こここここの地は何も植えてない、それをまとめたら実績になるとかいう話なのか、集積集めて農業を始めるとかいうのを指導した指導員の農業委員の報酬がアップするとか、その辺の内容をもう少し詳しく教えてもらっていいですか。

◎農業委員会事務局長（吉良圭三）

河野委員の質問にお答えをいたします。報酬は人それぞれまた違うんですけども、農業委員さんにつきましては、全体で活動については、地区が大きく決まっております。それに対して最適化推進委員とかがおります。今、全体の農業委員が12名、最適化推進委員が25名の計37名で活動しておりますが、その中で集積あたりは各地域に行くと、私はもう農業をしたくないので、どうにかしてこの土地を誰かに預けたいというような相談を受けて、農業委員がそこにおられる新規就農者の担い手に紹介するような形で集積をする。活動については、自分で

いろいろ歩いて回って、終わってないものに対して、誰々の土地なので、放棄したり、なにか植えたりしてほしいとかいうことをお願いして歩いているような形の実績であります。

○委員（河野 巧）

よく、1件当たり幾らとかの単価になるのかなと思ったりもするんですけど、その辺の何か基準みたいのがあるんでしょうか。

◎農業委員会事務局長（吉良圭三）

河野委員のご質問にお答えします。今回、令和4年度の4月から、ポイント制と変わりました。いろんな活動体制を市としてまとめて、国のほうに提出をさせていただきます。提出させていただいたポイントが全国で案分されて、臼杵市のほうに幾らですよという形できます。それを、1人ずつ活動した日数等とか活動内容によって報酬を振り分けて、皆さま方にお渡しするような形になります。以上であります。

○委員長（大塚州章）

以上で、農業委員会事務局の議案質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後3時08分 休憩

午後3時09分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、消防本部の議案について審査を行います。執行部の説明を求めます。

◎消防本部消防長（亀井英樹）

消防長の亀井です。消防本部所管分の令和4年度3月補正予算について担当の広戸課長代理より説明をいたします。よろしくお願いいたします。

◎消防本部総務課課長代理（広戸隆宏）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 16ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、消防本部の質疑を終わります。お疲れ様でした。休憩いたします。

午後3時10分 休憩

午後3時12分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、各特別会計の議案審査を行います。この審査の順番は所管課ごとに、議案番号順で行いますので、よろしくお願いします。

はじめに、上下水道管理課・上下水道工務課所管の議案審査を行います。第19号議案 令和4年度臼杵市水道事業会計補正予算（第3号）を議題といたします。執行部の説明をお願いいたします。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

（ 令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 17ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明が終わりました。これ質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

○委員（河野 巧）

歳出の1番、電気料の増ということですけど、何ヶ月分の試算になりますでしょうか。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

今回の追加につきましては、影響としては昨年の11月以降の分という形になっております。9月補正のときに3,000万円の追加補正をしております。これは昨年の10月いっぱい契約が更新となっていますので、そういった部分も含めてとか考えていただければ、全体的には、年間を通して形ではなるんですけども、一番大きく影響するのは昨年の11月からというふうに思っていただけだと思います。

○委員（河野 巧）

当初予算から仮に月500万円と計算していたときに、増えた分が200万円なので、200万円の11月から3月までの5か月分というような形の計算でいいですかね。

◎上下水道管理課長（齋藤隆生）

いえ、そういう形ではなくて、あくまで当初予算の段階は、過去2年間の平均的な動力費の状況等を見ながら当初予算を計上していましたが、昨今の動力費の状況というのは、その月によっても違います。例えば九州電力が、燃料の元を調達してくるわけです。そうすると購入した時の単価の上がり方というのは、その月によって変動いたしますので、毎月幾ら変わってくるという簡単なものではなくて、かなり大きなブレがあります。なおかつ、本市では、過去、大きなところの動力費については、少しでも安くしようということで、入札行為をやっていましたが、今回の動力費の高騰で、昨年の10月でちょうど契約更新があったんですが、九州電力とかが、入札がもうできないという状況になっておりましたので、そういったところも考えながら、この状況を少しでもということで、うちのほうで試算をしたところ、9月補正の段階よりもさらに動力費の増加が見込まれたということでもありますので、今回補正をしているということになっております。

○委員長（大塚州章）

他にありませんでしょうか。

(「なし」の声)

○委員長(大塚州章)

以上で、第19号議案についての質疑を終わります。

次に、第20号議案 令和4年度臼杵市下水道事業会計補正予算(第4号)を議題といたします。説明をお願いいたします。

◎上下水道管理課長(齋藤隆生)

(令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 18～19ページに基づき説明)

○委員長(大塚州章)

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。

(「なし」の声)

○委員長(大塚州章)

以上で、第20号議案についての質疑を終わります。以上で、上下水道管理課・上下水道工務課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後3時21分 休憩

午後3時22分 再開

○委員長(大塚州章)

再開いたします。次に、産業観光課所管の議案審査を行います。第21号議案 令和4年度臼杵石仏会計特別会計補正予算(第2号)を議題といたします。執行部の説明を求めます。

◎産業観光課参事(山木哲男)

(令和4年度 3月補正予算重点事項説明資料 20ページに基づき説明)

○委員長(大塚州章)

以上で、説明が終わりました。これより質疑に入ります。

(「なし」の声)

○委員長(大塚州章)

以上で、第21号議案についての質疑を終わります。以上で、産業観光課所管の質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後3時23分 休憩

午後3時24分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。次に、高齢者支援課所管の議案審査を行います。第２２号議案 令和４年度臼杵市介護保険特別会計補正予算（第３号）を議題といたします。執行部の説明をお願いします。

◎高齢者支援課長（川辺みさご）

（ 令和４年度 ３月補正予算重点事項説明資料 ２１ページに基づき説明 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、説明終わりました。これより質疑に入ります。質疑は挙手をもってお願いします。ありませんか。

（ 「なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

以上で、第２２号議案についての質疑を終わります。ご苦労さまでした。休憩いたします。

午後３時２５分 休憩

午後３時２６分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。これより第１８号議案 令和４年度臼杵市一般会計補正予算第１０号に対する討論に入ります。

○委員（河野 巧）

説明資料１２ページの農林振興課の債務負担行為で、イチゴ栽培施設整備事業これについては、良い事業なんじゃないかなと思う反面、これが計画された当時は多分、先週のいろいろ問題点があった時と同じ時期だと思いますので、今後この限度額ってというか、金額を幾らまでなら、通りやすくてとか、幾ら以上はこの市議会も一緒になって、審議というか事業計画書を見られるとか、何かそういうのを作らない限り、私は市民に対しても説明がつきにくいので、今回はちょっとこの部分については、承認しかねます。

○委員（川辺 隆）

休憩をお願いします。

○委員長（大塚州章）

休憩いたします。

午後３時２７分 休憩

午後３時２８分 再開

○委員長（大塚州章）

再開いたします。これより採決を行います。第１８号議案について賛成の方の起立を求めます。

（ 起立多数 ）

○委員長（大塚州章）

お座りください。起立多数であります。よって、第１８号議案については原案の通り可決すべきものとして決しました。

以上で、第１８号議案についての議案審査を終わります。

続きまして、特別会計のほうに参ります。第１９号議案から第２２号議案までは、一括して討論を行います。

（ な し ）

○委員長（大塚州章）

以上で、討論を終わります。これより採決を行います。特別会計 第１９号議案から第２２号議案については、原案のとおり可決することにご異議ありませんか。

（ 「異議なし」の声 ）

○委員長（大塚州章）

異議なしと認めます。よって、第１９号議案から第２２号議案については、原案のとおり可決すべきものとして決しました。以上で、第１９号議案から第２２号議案についての議案審査を終わります。

以上で、本委員会に付託を受けました議案審査を終わります。予算委員会を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後３時２９分 閉会

白杵市議会委員会条例第３０条第１項の規定により、ここに記録を作成する。

令和５年３月１日

白杵市議会

予算委員会委員長 大塚 州章